



topic2 編集後記「こんにちは！空木（ウツギ）です。」

空木メンバー



こんな感じでご意見番と一緒にやかしを中心にガヤガヤやっています（笑）

夏本番にいよいよ突入です。空木の編集スタッフは4月から楽しく熱い会議を繰り広げ、季刊誌をようやくスタートする事ができました！

まずは編集部メンバー紹介です。

編集部長：中村 薫さん 編集副部長：鈴木 みどりさん

デザイン構成：渡木 潤一さん

ご意見番：中村 亜希子さん にぎやかし：小林 里佳

最終目標は地域への配布。高槻市の介護をもっと知ってもらい、地域で支える介護の情報冊子No.1を目指します。まずは高槻市介護事業者協議会の中で行われている行事や部会のことを取材し、会員のみなさまに楽しんでもらうことが目標です。編集後記も次回からは編集会議でのあれこれを楽しく書いていきますのでお楽しみに！（株式会社Plume 小林里佳）

information

高槻市介護保険事業者協議会HP

協議会には入ったけど具体的にどんな活動をしているのかわからない...
部会など参加してみたいけどどんなものがあるか知りたいという方は→
のQRコードからHPにアクセスしてみてください。

空木 に関するお問い合わせは

072-682-7051

発行責任者
社会福祉法人高槻市社会福祉事業団 まで
中村



創刊 !!
2017
夏



こんにちは
顔を合わせれば
そんなつながりを持ちたい

「空木（ウツギ）」とは高槻市花の「うの花」の別称です

interview 改めて知る「高槻市介護保険事業者協議会」
協議会会長＆部会長よりごあいさつ

topic1 協議会平成28年度協議会活動紹介

topic2 編集後記「こんにちは！空木（ウツギ）です。」
季刊誌編集メンバーよりごあいさつ

高槻市介護保険事業者協議会案内

季刊誌発行ごあいさつ

「高槻市介護保険事業者協議会の活動が広く伝わるように」

わが国では、団塊の世代がすべて70歳以上になる2020年に70歳代人口がピーク期を迎える、2025年には団塊の世代すべてが75歳以上である後期高齢者になります。

また、高槻市においても、高齢者人口の増加にともない、認知症や一人暮らし、夫婦のみの高齢者世帯の増加などが予想されており、2025年度までにそれらに対応できる環境・体制整備が必要とされています。

そのような環境の中、平成26年7月に高槻市介護保険事業者協議会が設立されました。本会は「介護を必要とする利用者がその人らしく尊厳を持ち生きていくことができるよう介護サービス事業者が課題を共有し、連携して介護サービスの質の向上を図るとともに、より良いサービスを提供し、介護保険制度の円滑、適正な実施、充実をもって、市民の福祉の向上に資すること」を目的としています。

本会設立からの時間の経過というものは早いもので、すでに3年が経過しようかとしております。しかし、この3年の中においても、各理事、部会幹事及び部会員の皆さま方の活動により、介護保険事業者同士の連携が推進されているように感じております。

そこで、本会の活動が会員の皆さまに広く伝わるよう季刊誌の発行をさせていただくことに至りました。

是非、本季刊誌をご高覧いただき、今後とも変わらぬ本会活動へのご協力をよろしくお願いいたします。

高槻市介護保険事業者協議会
会長 上田 拓



各部会案内



居宅介護支援部会
部会長
社会医療法人
仙養会
坂本 貴政

ケアマネジメントスキルを高めながら、他部会、専門職団体とも連携しケアマネ業務が楽しいと思えるようなそんな部会を作っていくみたいと思います。



在宅サービス部会
部会長
有限会社
アクティ
向井 学

訪問・通所・福祉用具・医療系等、多種のサービス事業所がレベルアップのために成功例や問題点などを気軽に話し合える雰囲気作りを目標としております。



施設サービス部会
部会長
社会福祉法人
真昌会
北元 正志

施設サービス部会では、施設特有の課題を共有し共に学び合うことで、互いのサービスの質の向上を図っております。



小規模多機能型
居宅介護部会
部会長
社会福祉法人
春樹会
山本 邦文

通いを中心として、利用者の様態や希望に応じて、在宅での生活が継続できるよう支援するため、地域包括ケアシステムにおける在宅生活サービスの要となるべく、部会員の連携を密にして、活動を行っています。



介護人材育成部会
部会長
社会福祉法人
大阪府社会福祉事業団
羽田 浩朗

人材育成グループと人材確保グループに分かれて、ニーズに合った研修や、介護の良さを広くPRすることで人材確保に繋げる企画、取り組みを行っています。



地域包括ケア
システム部会
部会長
社会福祉法人
高槻市社会福祉事業団
中村 薫

事業者間の対話を大切にしながら、多職種連携強化が図れるような活動に取組んでいきたいと考えています。



認知症支援部会
部会長
社会医療法人
祐生会
村上 宏三

認知症の方々が「住み慣れた高槻市で自分らしく暮らし続けるために」専門職として専門性を高めたケアを目指していきます。